

公務員獣医職合同説明会資料



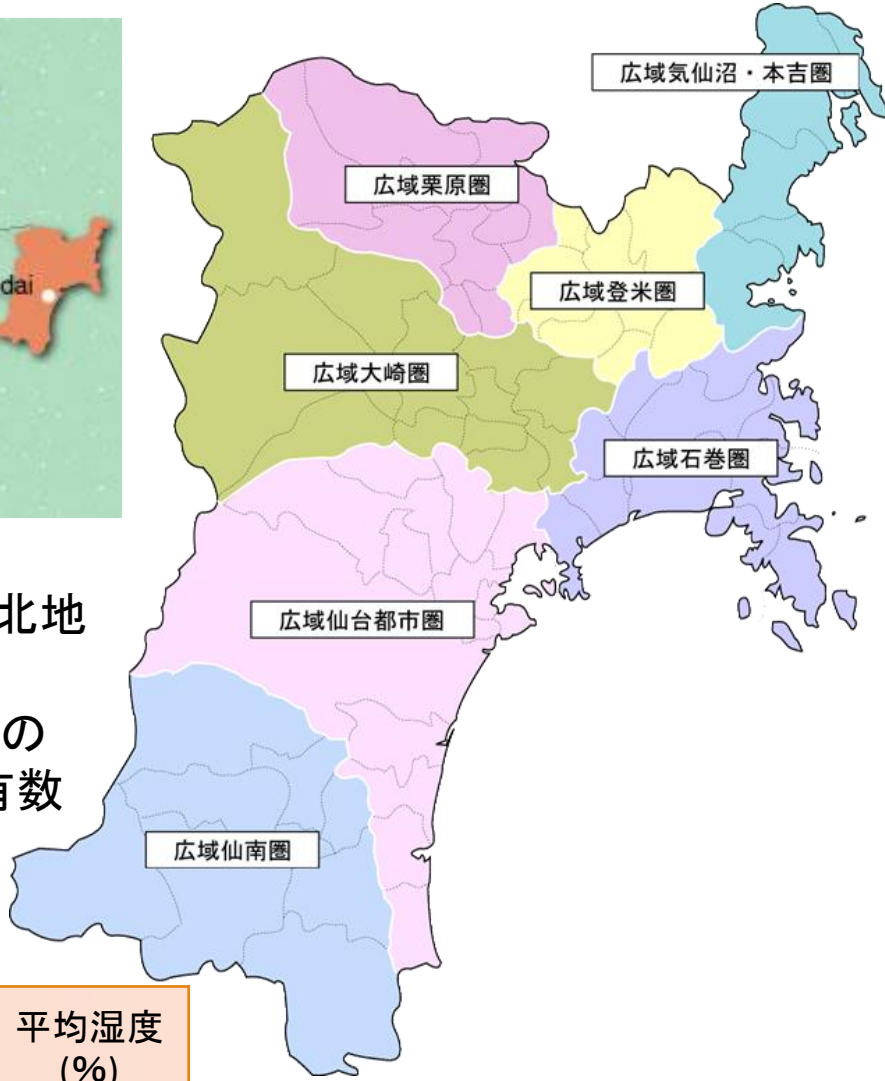
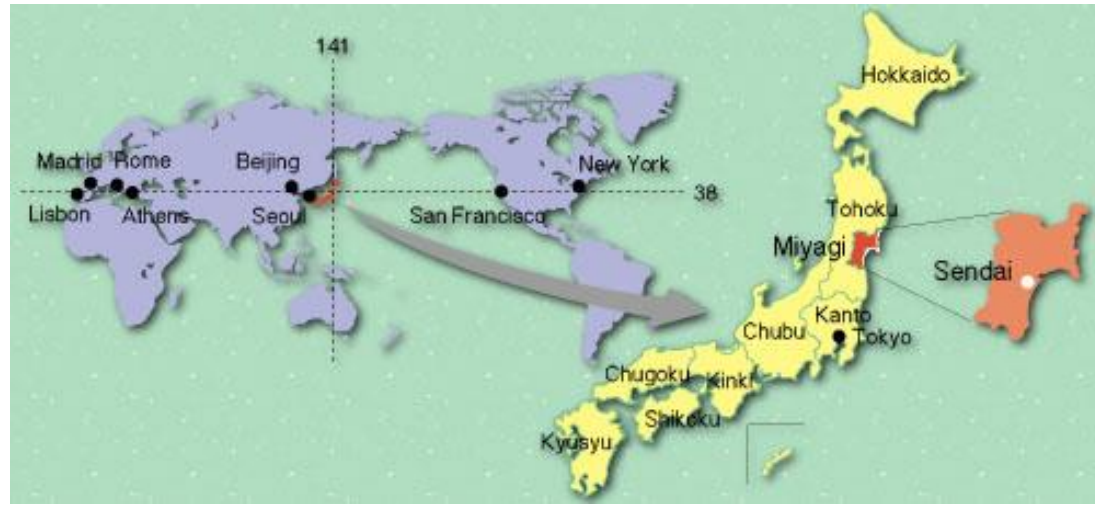
宮城県観光PRキャラクター
「むすび丸」



宮城県

Miyagi Prefectural Government

宮城県のプロフィール



宮城県は、日本の首都東京から300km北東、東北地方の中心に位置します。県庁所在地の仙台市。

東は太平洋に面し、西には蔵王・船形・栗駒などの山々が連なり四季折々の姿を見せ、中央部には有数の穀倉地、仙台平野が広がります。

総面積は、7,285km²、人口は233万人(2016)

	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	年間降水量 (mm)	平均湿度 (%)
仙 台	12.1	34.0	-5.5	1279.0	72
東 京	16.0	34.3	-0.8	1854.0	61

宮城県内の高規格道路整備状況



仙台都市圏高速環状ネットワーク(ぐるっ都・仙台)



県職員 of 獣医師の仕事



宮城県組織で獣医師が勤務する公所

県職員数(知事部局)約5,000人　うち獣医師数134人(女性46人)

県組織(知事部局)

- 総務部
- 震災復興・企画部
- 環境生活部
- 保健福祉部
- 経済商工観光部
- 農政部
- 水産林政部
- 土木部
- 出納局

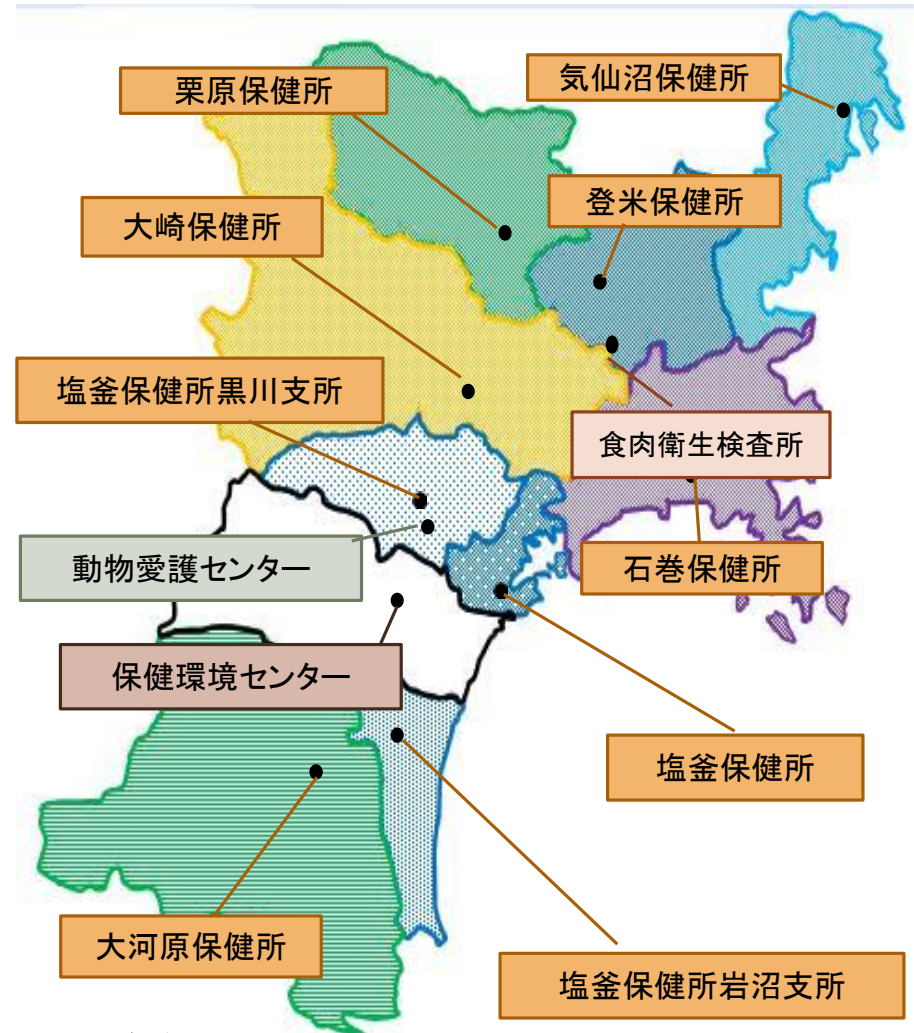
獣医師の勤務する公所

- 環境生活部・保健福祉部
(77人　うち女性25人)
 - ① 食と暮らしの安全推進課
 - ② 保健環境センター
 - ③ 食肉衛生検査所
 - ④ 動物愛護センター
 - ⑤ 保健福祉事務所等
- 農政部
(57人　うち女性21人)
 - ① 畜産課
 - ② 家畜保健衛生所
 - ③ 畜産試験場
 - ④ 地方振興事務所畜産振興部等

宮城県内の地方公所



家畜保健所(畜産振興部): 6カ所
畜産試験場: 1カ所



保健所(支所): 9カ所
保健環境センター: 1カ所
食肉衛生検査所: 1カ所
動物愛護センター: 1カ所

環境生活部での仕事

1 保健所での業務

- 食品衛生
食品衛生法に基づく営業許可・監視
食中毒に関する調査，スーパー等での食品収去
- 獣疫衛生
動物の愛護及び適正な飼養に係る知識の普及
犬，猫等の管理，譲渡及び処分
捕獲犬の抑留
- 環境衛生
営業六法（理容師法・美容師法・
クリーニング業法・旅館業法・
公衆浴場業法・興行場法）に関すること。
公害防止に関すること。



2 保健環境センター

- ノロウイルスやサルモネラ等の病原体による食中毒や感染症の原因究明
- 食品衛生・環境衛生に関する試験検査及び調査研究
- 結核・感染症発生動向調査



細菌検査

細菌検査

3 動物愛護センター

- 動物の愛護及び適正な飼養に係る知識の普及啓蒙
- 犬、猫等の管理，譲渡及び処分
- 負傷動物の治療
(飼い主不明の犬，猫の応急処置)
- 捕獲犬の抑留
- 動物の病性鑑定（狂犬病等）
- 人獣共通感染症の調査研究



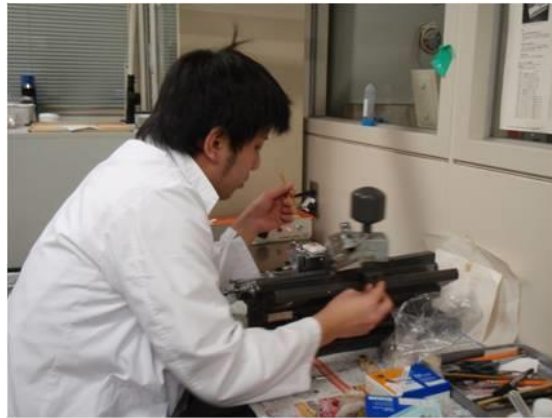
ふれあい教室

4 食肉衛生検査所

- 獣畜，食鳥の疾病・異常に関する検査及び調査研究
- 食肉・内臓などの微生物調査，抗菌性物質などの残留検査
- と畜場及び食鳥処理場における解体処理，衛生管理などに関する指導



枝肉検査



病理検査



BSEスクリーニング検査

農政部での仕事

1 家畜保健衛生所

□防疫班

- 家畜衛生に関する業務
定期的な検査，農場における病性鑑定，放牧衛生
- 動物薬事
動物用医薬品の販売に関する許認可等
- 獣医事
獣医師法・獣医療法に基づく確認等

□指導班

- 家畜の改良増殖に関すること
人工授精師，家畜商，共進会
- 草地開発，飼料の安全性確保
- 家畜排泄物
- 畜産関係の補助事業

□病性鑑定班（県内に1カ所 仙台家畜保健衛生所のみ）

- 家畜疾病の病性鑑定
- 若手職員へ技術研修会の開催
- 家畜伝染病の予防技術および検査技術の調査研究



血液採材



細菌検査

2 畜産試験場

- 肉牛の試験研究, 肉用牛の集団育種
- 乳牛の試験研究, 能力検定・飼養管理
- 受精卵移植技術, 繁殖技術の試験研究
- 豚の育種・試験研究・系統豚の維持・生産



仙台牛



基幹種雄牛：茂洋



系統豚：しもふりレッド

宮城県職員における獣医師の職位

宮城県の職位

●部長級

●次長級

●課長級

獣医師のこれまでの歴任ポスト

●技監兼次長

●次長

●保健環境センター所長

●地方振興事務所副所長

●畜産課長

●食と暮らしの安全推進課長

●動物愛護センター所長

●保健福祉事務所副所長

●畜産試験場長

●家畜保健衛生所長

●地方振興事務所畜産振興部長等

待遇・労働条件

●給料月額（家保216,800円）

●手当の種類

①初任給調整手当

大学卒業～15年以内（1年毎に減額）

初年度35,300円/月

②扶養手当（配偶者6,500円,
子10,000円等）

③地域手当（1.5～4.5%）

④通勤手当(上限65,000円)

⑤期末・勤勉手当（4.45月分）

⑥住居手当(上限27,000円)

⑦時間外勤務手当

⑧退職手当等

●給料の調整額支給（家保12,300円/月～）

●有給休暇（20日）

●特別休暇

①ボランティア休暇（5日）

②結婚休暇（7日）

③つわり休暇（10日）

④妊婦検診休暇

⑤出産休暇（16週）

⑥男子育児参加休暇（5日）

⑦リフレッシュ休暇（3日）

⑧夏季休暇（5日）等

●病気休暇

●育児休業（子が3歳まで）

福利厚生・研修制度

福利厚生

● 宿舎

- ① 世帯用職員住宅
- ② 独身・単身用職員寮

● 健康管理・レクリエーション

- ① 定期健康診断・がん検診
- ② 宿泊施設・レクリエーション
施設利用への助成

● 共済制度

- ① 出産等への給付
- ② 年金
- ③ 住宅・結婚等への貸付

● 施設（県庁）

診療所・歯科診療所・食堂・保育園・カフェラウンジ

研修制度

（公務研修所での研修）

● 階層別研修

- ① 新任研修
- ② フォローアップ研修
- ③ 主任主査研修等

● 選択制研修

- ① 政策法務研修
- ② プレゼンテーション講座
- ③ ファシリテーション講座
- ④ クレーム対応力講座等

インターンシップ

●期間

概ね7月から9月までの5日間

●問合せ先

①環境生活部環境生活総務課総務班 TEL 022-211-2522

②農政部農政総務課管理班 TEL 022-211-2885

●インターンシップの内容

下記の各施設での座学又は実習

①県庁（食と暮らしの安全推進課・畜産課）

②動物愛護センター

③保健環境センター

④食肉衛生検査所

⑤畜産試験場

⑥家畜保健衛生所等

宮城県獣医師修学資金貸与者募集

- 1 貸与対象者
獣医学を履修する課程に在学する5年生で卒業後宮城県（家畜保健衛生所）に
獣医師として勤務しようとする方
- 2 募集人員
R3年度分 1名以内（5年生のみ対象）
- 3 貸与額
国公立大学生 10万円/月，私立大学生 18万円/月
- 4 提出書類
①申請書 ②学長の推薦書 ③健康診断書 ④戸籍謄本 ⑤学業成績証明書
⑥保護者等の収入を証明する書類
- 5 提出期間
令和3年4月1日(木)から7月23日(木)まで (当日消印有効)
- 6 選考方法
書類審査，小論文及び面接により貸与者を決定し通知します。
- 7 返還免除
県職員採用試験に合格し，大学卒業後直ちに獣医師資格を取得，宮城県職員（家畜保健衛生所
勤務）として，貸与額によって一定期間以上勤務した場合は，就学資金全額の返還が免除され
ます。
10万円/月：貸与機関の2分の3以上，18万円/月：貸与機関の3分の5以上
- 8 返還措置
貸与資金は規程に基づき，返還措置が発生する場合があります。

※詳しくは別紙資料を確認ください！

【修学資金に関する問い合わせ先・申請書類提出先】

一般社団法人 宮城県畜産協会 総務課 TEL 022-298-8471

【採用・勤務条件等に関する問い合わせ先】

宮城県 農政部 家畜防疫対策室

TEL 022-211-2854

獣医師採用情報



- 平成29年度から教養考査を廃止しました。
- 特別な公務員試験対策をすることなく受考できます。
- 教養考査の廃止により、2段階選抜から1段階選抜になり、考査日程が短縮されています。
- インターンシップも随時受付中です！

～ 先輩獣医師の声 ～



畜産課衛生安全班
主任主査 高野泰司（北里大卒）

子供の頃から「畜産」が身近な環境にあり、地元の宮城県で畜産に貢献できる職に就きたいという思いで入庁しました。

平成17年4月の入庁以来、家畜保健衛生所（家保）で農場での検査等の防疫業務や病性鑑定業務に従事してきました。

現在所属する畜産課衛生安全班は、家畜衛生に関する行政事務全般を担当しています。その中で、私は、安全・安心な畜産物生産を支援するための家畜衛生対策事業を担当しています。具体的には、家畜衛生分野の農場支援施策を国と協議し、事業計画を県内の各家保や関係機関と調整し実施します。また、予算案の作成も行い、検査に必要な器具・機材の整備等を行っています。畜産課では、幅広く、かつ、先をみすえた視点で業務を進める必要があり、難しい面もありますが、その分やりがいや達成感も大きく、充実した毎日を送っています。

～ 先輩獣医師の声 ～



現在、私は家畜保健所の職員として、生産現場に出向き、家畜伝染病予防法に基づく定期検査や衛生指導等に携わっています。農場から病性鑑定の依頼があれば、原因を究明し、衛生指導を行います。時には大がかりな農場消毒を行うなど、体力勝負の仕事もあります。大変な面もありますが、生産者に寄り添い、改善につながって感謝された時は、家保の獣医師として大きなやりがいを感じるどころです。

私生活では2人の子供の母でもあります。公務員は女性や子育てに関する各種休暇制度が充実していますし、周囲の理解がとてもあるので、子育てと仕事の両立がしやすいと思います。家族や職場の方々に支えられながら、家庭と仕事と、充実した生活が送れています。



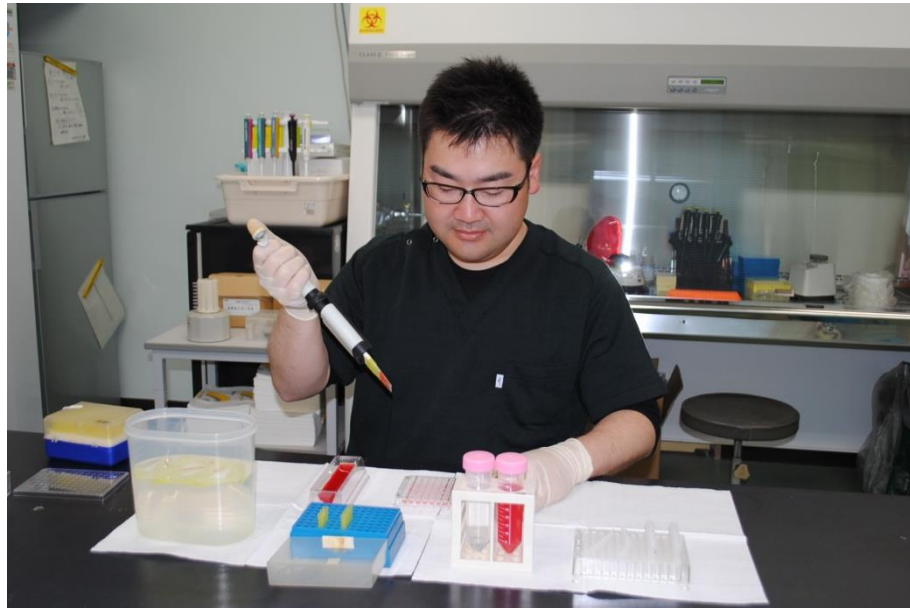
仙台家畜保健衛生所
主任主査 柴田 千尋（農工大卒）

～ 先輩獣医師の声 ～

私は現在、仙台家畜保健衛生所病性鑑定班でウイルス検査を担当しています。ウイルス検査では、鳥インフルエンザ等の家畜伝染病の検査も行うため、業務に責任を持ちながら、充実した毎日を過ごしています。

私は大学を卒業後、製薬会社で研究開発に携わった後に宮城県へ入庁し4年目になります。前職で得た技術や経験は、現在の検査業務においても大変役に立っており、他の職員にはない私の武器となっています。

県職員獣医師は、家畜衛生だけでなく、食肉衛生や動物薬事、動物福祉等、幅広い業務を担当しています。そのため、私のように他の獣医師の職種を経験した人がその経験を発揮できる場が必ずあるというところが、利点だと思います。



仙台家畜保健衛生所 病性鑑定班
技師 松尾賢吾 (帯広畜産大学卒)

～ 先輩獣医師の声 ～

バイオテクノロジー研究チームで受精卵に携わる業務や研究を行っています。これまでは家畜保健衛生所防疫班・病性鑑定班にて家畜衛生や疾病診断などに関する業務を行っており、繁殖分野は学生時代の実習しか経験がありませんでした。全く何もできない状態でしたが、先輩方の指導の下、まずは直腸検査からスタートし、超音波診断、人工授精、受精卵移植、採卵やOPU、体外受精など様々な技術を修得中です。初めて自分で受精卵移植した牛が受胎し、子牛が生まれたときは、とても嬉しかったです。また獣医師として日々の飼養管理や治療なども行っています。求められる業務の幅が広く、難しいことも沢山ありますが、その分、充実感が大きく、やりがいのある職場です。

畜産試験場 酪農肉牛部

バイオテクノロジー研究チーム

副主任研究員 矢島 りさ(麻布大卒)

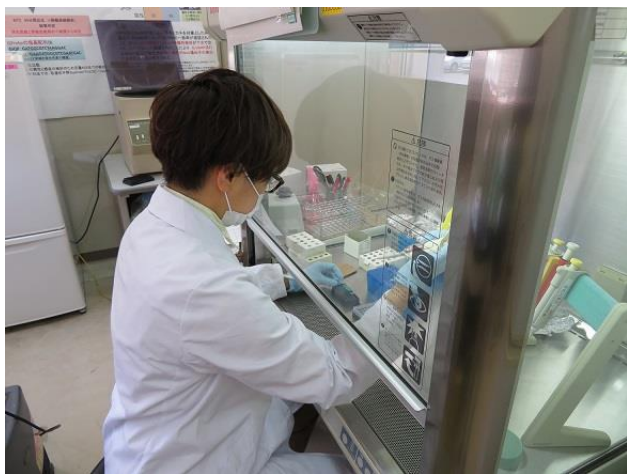
～ 先輩獣医師の声 ～

入庁10年目です。これまで食肉衛生検査所や保健所に配属され、検査室内業務から窓口対応まで様々な業務を行ってきました。業務内容も病理検査、動物愛護管理、食品衛生、薬物乱用防止活動、温泉と経験しています。幅広い分野の業務に触れる機会があるのがこの仕事のよいところです。新たな領域を勉強し、様々な人に会うごとに視野が広がり、自らの成長を実感しています。学ぶ意志のある方、ともに宮城県職員として頑張ってみませんか。

石巻保健所
技術主査 高橋 巧（北海道大卒）



～ 先輩獣医師の声 ～



保健環境センター 微生物部
研究員 坂上 亜希恵
(酪農学園大卒)

保健環境センターは、宮城県における保健衛生及び環境行政の科学的中核施設として位置付けられ、行政への科学的根拠の提供や支援を行うことを役割としています。

所属する微生物部は、県内流通食品の微生物検査、食中毒・感染症発生時の原因究明検査、感染症情報の収集分析や公表、行政指導の科学的根拠となる調査研究、外部機関との共同研究などを実施しています。

現在の職場は、臨床検査技師、薬剤師、農芸化学など様々な職種やバックグラウンドを持つ方と一緒に業務を行っており、業務のみに留まらず、新しい視点など日々学ぶことが多いです。

女性職員も多く、ライフスタイルが変わっても長く働き続けることができます。同僚が非常に多様であるのは公務員ならではの気がします。

「公務員獣医師」の仕事はなかなかイメージしづらいと思います。まずはお気軽に見学やインターンシップに参加してみてください。

～ 先輩獣医師の声 ～



私は入庁してから、育休などを挟みながら食肉衛生検査所と保健所に勤務してきました。保健所では食中毒調査の他、保育所に行ってノロウイルス予防のお話をしたり、大規模食品工場の監視や町のお菓子屋さんの相談と、いろいろな経験をしました。食肉衛生検査所では、風光明媚な環境と賑やかなランチタイムを楽しみながら、食肉の疾病排除や衛生指導をしています。

宮城県は温かい人が多く、県職員はそんな人たちの役に立ちたいという気持ちを生かせる仕事です。子育て環境も年々充実してきており、家族をもって暮らしていくのにもとても良いところです。ぜひ、宮城県を卒業後の選択肢に入れてみてください。



食肉衛生検査所
技術主査 三宅 摩耶（北里大卒）

～ 先輩獣医師の声 ～



動物愛護センター
技術主査 土井 敬一（北里大卒）

私が所属する動物愛護センターは、保健所から収容された犬猫等の管理・致死処分・譲渡や負傷動物の治療等を担当する部署です。また、動物の習性や正しい飼い方について学んでいただくことも当所の大事な事業で、その一環としてふれあい教室や一日飼育体験等を開催しております。私はその中で県民の皆さんが安心してイベントに参加出来るよう企画・調整業務や、ウサギやモルモット等のふれあい動物の健康管理業務も担当しております。

獣医師として積極的に“命を救う”一方で、時にはやむなく獣医師として“命を奪う”現場。日々動物の命に正面から向き合う仕事で大変な業務ではありますが、その分やりがいや達成感も多く充実した毎日を送っています。様々な業種の職員と一緒に仕事ができる点も人脈や視野が広がり大きなメリットを感じています。ぜひ宮城県職員として一緒に働いてみませんか？

全国からみた宮城県の畜産の位置付け

平成29年2月1日現在（単位：頭，千羽）

区分	1位	2位	3位	宮城県
乳用牛	北海道 779,400	栃木県 52,100	岩手県 42,500	9位 19,200
肉用牛	北海道 516,500	鹿児島県 322,000	宮崎県 243,800	7位 81,800
豚	鹿児島県 1,327,000	宮崎県 846,700	千葉県 663,900	15位 197,200
採卵鶏	茨城県 13,279	千葉県 12,121	鹿児島県 10,590	17位 4,666
ブロイラー	宮崎県 27,684	鹿児島県 26,645	岩手県 22,002	14位 2,201

資料：畜産統計

宮城県の畜産以外の農林水産業

区分	1位	2位	3位	宮城県
漁業生産量	北海道 146万t	宮城県 39万t	長崎県 32万t	2位 39万t
米 作付面積	新潟県 117,400ha	北海道 114,400ha	秋田県 89,700ha	6位 73,300ha
いちご 生産量	栃木県 28,300t	福岡県 16,900t	熊本県 13,000t	10位 5,640t
リンゴ 栽培面積	青森県 28,200ha	長野県 8,280ha	岩手県 2,840ha	9位 307ha
ブルーベリー 栽培面積	長野県 108ha	群馬県 91ha	茨城県 71ha	8位 28ha

資料：宮城県

宮城県の名所・レジャー



青葉城



蔵王



松島



温泉（39カ所）



スキー・スノーボード（10カ所）



海水浴・サーフィン（27カ所）

宮城県の祭り



どんと祭り



青葉まつり



七夕



ジャズフェスティバル



みちのくYOSAKOIまつり



光のページェント



君の能力を
宮城県で発揮
してみませんか!

仙台牛PRキャラクター
「牛政宗くん」